



アメリカ大使館主催／文部科学省後援

ニューヨーク大学プロフェッショナル学部東京校提供

中学・高校英語教員・指導主事対象 コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング指導法 春季集中セミナー（無料）参加者募集

申込み締切り **2月26日（日）**

アメリカ大使館は、ニューヨーク大学プロフェッショナル学部東京校と提携し、中学・高校英語教員および指導主事の方々を対象に、生徒の4技能を伸ばす最新の英語教授法を学ぶ3日間の集中セミナーを実施いたします。2014年から始まったこのセミナーシリーズは、これまでに300名以上の方が受講。全国にネットワークが広がっています。

この集中セミナーでは日本の教科書や指導要領に精通した講師陣が、CLT（コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング）の理論に基づいて、参加者がその理論を実際の教育現場に組み入れられるように指導します。教材の共同開発や活発なクラスディスカッションへの参加、また、本セミナーで作成した教材を使用したミニ・モデルレッスンの発表など、実践的なプログラムを通じて、コミュニカティブな英語教授法のスキルを磨きます。

【応募資格】（以下、すべてを満たす方）

- ★日本全国の中学・高校の現職英語教員、または指導主事の方
 - ★英語での授業に参加できる一定レベルの英語力をお持ちの方
 - ★英語教授法のスキルを高めたいと考えている方
 - ★他の参加者とのディスカッションや共同作業に積極的に参加できる方
- ※以前、当校による同様の集中セミナーに参加された方は、対象外となります。

【開催日時】

2017年3月18日（土）～3月20日（月）（3日間）

オリエンテーション

3月17日（金）17:00～18:15（18:15～19:30 懇親会）アメリカンセンター JAPAN

【セミナースケジュール】

Day 1： 3月18日（土） 9:00～12:00 / 13:00～17:15

Day 2： 3月19日（日） 9:00～12:00 / 13:00～17:15

Day 3： 3月20日（月） 9:00～12:00 / 13:00～17:00

*使用言語：英語

【会場】

ニューヨーク大学プロフェッショナル学部 東京校
東京都港区 港南 2-15-1 品川インターシティA棟 22階

【受講料】

アメリカ大使館が奨学金として全額負担

セミナー期間中、宿泊が必要な参加者（25名限定）の宿泊費もアメリカ大使館が負担。

宿泊先：品川プリンスホテル シングルルーム 朝食付

【募集人数】

40名／厳正な書類選考の上、参加者を決定いたします。選考された方には、3月初旬までにご本人に通知いたします。

*プログラム修了者には、ニューヨーク大学プロフェッショナル学部東京校より「Certificate」が授与されます。

【お問合せ】

本セミナーに関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

ニューヨーク大学プロフェッショナル学部 東京校

電話：0120-265-212

メール：embassy-nyu-ali-tokyo-scholarship-group@nyu.edu

【応募方法】

アメリカ大使館の特設サイトからお申し込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/6eea4d2665326>

アメリカ大使館 広報文化交流部・教育人物交流室 担当：落合

【スケジュール・講座概要】

Day 1:3月18日(土) 受付開始9:00

午前10時～午後12時：コミュニケーション・ランゲージ・ティーチングの原理／授業プラン

午前中の主な目的は、文部科学省の新学習指導要領により支持されているコミュニケーション・ランゲージ・ティーチング法の背景や教育原理を学びます。CLT（コミュニケーション・ランゲージ・ティーチング）の概略理論を学び、コミュニケーション・アプローチを各自の授業プランに組み入れる方法について理解を深めていきます。

午後1時～3時：コミュニケーション・シラバスの作成

午前の授業に引き続き、CLT法を基にしたシラバスを構成・作成する方法を共同で編み出していきます。英語の授業中に生じる問題について議論する他、意見交換をする機会が持てます。

午後3時15分～午後5時15分：コミュニケーション・アセスメント概論

英語教授における英語力の評価には、シラバスの目的と授業で行うことが、ぴったりと適合していることが必須です。本ワークショップでは、CLTの授業から実際に生じた事例を用いて、スピーキング評価の概念と方法について検討します。評価理論の概要を学び、学習者の英語のコミュニケーション力を評価する手法について、深く掘り下げていきます。

Day 2:3月19日(日)

午前9時～午後12時：コミュニケーション・リーディング／ライティングの演習作成

午前の授業はCLTの原理にのっとった効果的なリーディングやライティング演習に時間を割きます。教材作成において、教育学上、何が適切で、何が適切でないのかを詳しく学んでいきます。文部科学省認定のリーディングやライティングの教科書を用いて、CLT法の授業にうまく取り入れられるよう、特に配慮をしていきます。

午後3時15分～午後5時15分：コミュニケーション・スピーキング／リスニングの演習作成

午後の授業はCLTの原理にのっとった効果的なスピーキングやリスニング演習に時間を割きます。教材作成において、教育学上、何が適切で、何が適切でないのかを詳しく学んでいきます。文部科学省認定のスピーキングやリスニングの教科書を用いて、CLT法の授業にうまく取り入れられるよう、特に配慮をしていきます。

午後3時15分～午後5時15分：テクノロジーを利用した教授法

午後の授業はテクノロジーを利用することの利点や可能性について紹介していきます。例えば、インターネットの普及とともに登場した“反転授業”を取り上げ、学校の授業においていかに個々の生徒に合わせた指導を行い、生徒同士の協働を活発に

するかについて、ブログの活用、オンライン学習教材の作成などについて学んでいきます。参加者たちは最初に作ったオンラインの授業内容を練り直し、文部科学省認定教科書を授業にうまく取り入れるための具体策を練っていきます。

Day 3: 3月20日(月)

午前9時～午後12時／午後1時～午後5時：
ミニ・モデルレッスン
午後は参加者それぞれが独自で作ったレッスンを行い、講師やクラスメートからフィードバックやアドバイスをもらいます。コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチングの授業の質を上げ、英語で授業をする自信を培っていきます。